

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	手づくりデイ コビトハウス		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 11日		2025年 11月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年 11月 11日		2025年 11月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	安心して過ごせるよう日々の清掃や整理整頓を心がけています。活動内容やその日の子どもの様子に合わせて、スペースの使い方を工夫しています。	一人ひとりがより安心して過ごせる環境作りを続けていきます。また、視覚や聴覚などの刺激が強くなりすぎないように工夫します。
2	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	面談や日々の関わりを通して、子どもや保護者の願いを丁寧にききとり、一人ひとりに合わせた計画を作成しています。日々の記録や職員間の話し合いを通して多面的に捉え、目標を設定しています。	支援目標がより具体的でわかりやすいものになるよう工夫を重ねていきます。定期的なモニタリングはもちろんですが、必要に応じて柔軟に見直しを行うことで、よりその子にあった支援に繋げて行きます。
3	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	送迎の際や連絡帳を通して、日々の様子や活動内容を伝えていきます。普段の様子と違うなど感じた場合は、早めに連絡を取り、その後の対応などを相談させてもらっています。	困り事や不安なことがあった場合に、気軽に相談できる環境づくりを心がけます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	基本的な環境整備は行っていますが、視覚的なわかりやすさが欠けており、わかりやすさにおいてさらに工夫が必要と考えます。また、玄関の段差など、全面的なバリアフリー化にはなっていません。	わかりやすく構造化された環境になるため、視覚支援の工夫を心がけます。段差については、配慮が必要な場合手を添えるなどの対応をしています。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	放課後児童クラブや児童館との交流は、現在行っていません。地域の子どもと積極的に活動することはありませんが、隣接するあやめ公園で交わることがあります。	子どもたちの様子やニーズを踏まえ、無理のない形で地域との関わり方を検討していきます。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	現時点では保護者同士の交流やきょうだい向けのイベントは実施できていません。一度、ご家族参加型のイベントを企画しましたが、天候不良によりやむを得ず中止となりました。	参加しやすい場所や時期を考慮し、実施方法を検討していきます。